
友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ
津山洋学資料館友の会

2020 February No.4



佐用町（兵庫県）の三日月藩乃井野陣屋館を見学（2ページに関連記事）

CONTENTS

第32回史跡見学会報告	
三日月に残る史跡を訪ねて	2
友の会のあゆみ ②	3
植栽ボランティア活動実施	4
薬草の小径から ③	
編集後記	

三日月に残る史跡を訪ねて

理事 小林 孝

令和元年11月17日(日)、絶好の秋晴れの中、バスは一路、佐用町乃井野の三日月藩乃井野陣屋跡へ。三日月藩は、森家の分家であった津山新田藩主の森長俊が津山藩改易の時、美作国勝田郡から三日月に移されたのが始まりで、1697(元禄10)年と藩の成立は遅いものの、津山から訪れた私たちにとっては縁の深い場所でした。1999(平成11)年から復元を行い立派に



三日月藩乃井野陣屋館の前で記念撮影

再建された陣屋館は、今は、資料展示室になっていました。幕末から明治初期頃の陣屋町の様子を描いた「旧三日月藩郭内之図絵馬」には屋敷名などが詳細に描かれていて、下山純正顧問の案内でその絵図にあるかつての藩士の屋敷跡をのどかに散策しました。次に、三日月藩士船曳五七郎の次男に生まれ、のちにジストマ発見者となった石坂堅壮が学んだとされる船曳文陽とそのあとを継いだ西河の屋敷跡(今は、「田此なかよし広場」)を車中見学しました。



濟露山高蔵寺

その後、バスは、藩主森家の菩提寺 濟露山高蔵寺へ。この寺の創建は奈良時代の725(神亀2)年で、行基が勅命により開いたのが始まりと伝えられていて、古くから朝廷や領主の庇護を受け、後醍醐天皇の隠岐配流の顛末など、興味深い伝承を学びました。この寺には、森家の御霊屋の他、船曳文陽・西河の墓所があり、お参りしました。今回のような見学会だからこそ出会えた貴重な墓碑でした。



安東鐵馬頭彰碑

見学コース

- ① 三日月藩乃井野陣屋館・陣屋表門・武家屋敷風情散策(兵庫県佐用町) ⇒
- ② 船曳文陽・西河屋敷跡(同) ⇒
- ③ 濟露山高蔵寺 船曳文陽・西河墓所(同) ⇒
- ④ 昼食 味わいの里三日月(同) ⇒
- ⑤ 安東鐵馬頭彰碑・安東鐵馬両親の墓所(美作市土居)



第2回オランダ料理の夕べの様子

2021年 友の会創立40周年へ 未来に向けて記録に残しておきたい ～あんな出来事・こんな出来事～

友の会のあゆみ ②

「友の会のあゆみ ①」(通信第3号掲載)では、下山顧問に友の会発足時の思い出をお話しいただきました。

2回目となる今回は、友の会のソフト事業の中でも、特にユニークな事業である、再現オランダ料理の会「オランダ料理の夕べ」についてのお話を伺いました。

小林編集委員 今回は、友の会が行ったソフト事業について、特に思い出深いエピソードを教えてくださいませんか。

下山顧問 友の会発足後の数年は研修旅行と講座が中心で、その結果を「友の会だより」でお知らせしていました。でも何か「洋学」の特性を活かしたソフト事業ができないかいつも思っていました。

昭和60年の12月に、木村岩治館長が「役員会の新年会をしたいですね」とおっしゃったので、「それならオランダ料理でやったら如何でしょうか？」と弾みで答えました。「それは楽しそうだね」と言ってくれたかったので、さっそく津山国際ホテルに行つて相談しました。その時は、ホテルに頼めば、すぐにでも開催できると思つていました。ところが、「フランス料理や中華料理なら対応できますが、オランダ料理ってどんな料理ですか？」と逆に質問されてしまいましたね。

小林 確かにオランダ料理ってどんな料理？ですよ。それでどうしたんですか？

下山 当時はインターネットもないし、料理本をあたつてみても、適当なものがないんです。新年会ま

での時間もないし、頭を抱えてしまいました。
渡部編集委員 それでどうしたんですか？

下山 分からない事は大使館に聞けばいいんだ！って考えたんですよ。あまり深く考えず、次の日には東京のオランダ大使館の前に立っていました。でも、オランダ語はおろか英語もあやしいのに、さて、どうしたものかと悩みましたね。

小林 凄い！猪突猛進ですね。それから？

下山 ここまで来たのだから前進あるのみ。受付で「オランダ料理について知りたい」と伝えたところ、大使館の日本人スタッフの方が対応してくださり、「今、東京の某ホテルでオランダフェアをしていますよ」という情報や、料理の資料をいただきました。帰り際、「オランダ総領事館にもよく伝えておきますから」と言っていたので、後日アポを取つて、当時神戸にあった総領事館を訪ねて、たくさんのオランダ料理の資料を手に入れることができました。これに味を占めて、以後何かと総領事館に出入りするようになりましたね。

その後、昭和61年6月には総領事が資料館を訪問され、翌年3月のオランダ大使御夫妻の津山公式訪問につながったんですよ。

小林 詳しいことは友の会『十年のあゆみ』に掲載されていますね。顧問の行動力には驚くばかりですが、ワクワクします。

下山 話は戻りますが、昭和61年1月25日に開催した最初の新年会「オランダ料理の夕べ」は、現版のメニューで想定していたのですが、準備に一カ月程しかなく、それなりの内容になってしまいました。役員だけではなく公募したところ、珍しさもあってか、約70名の方が参加されました。

大方の参加者には喜ばれたのですが、中には料理の専門家がおられて「これがオランダ料理？」という辛口の感想もありました。ですから、次回はどこからもクレームの出ない完璧なものにしてやるぞと思いましたね。

渡部 次はいつ開催されたのですか？

下山 2年後の昭和63年1月23日です。森島中良の『紅毛雑話』にある「大槻玄沢が長崎で食したオランダ料理」を再現しようとしてくり計画を立てました。

渡部 2年間準備に費やしたんですか！

下山 この料理について解説した『日本人と西洋食』の著者だった、西洋料理研究家で第一ホテル常務取締役（高松国際ホテル専務）の村岡實先生を訪ねてご指導いただき、ついでに講演も依頼してきました。講演会と会食、いいでしょ！

当日は105名が参加され、翌日のテレビ番組で全国放送されたんです。参加者の声も良好で、大いに満足のいく内容でした。

小林 私も参加したことがあります。が、このオランダ料理の企画は何回ほど開催されたのでしょうか？

下山 その後6回でしょうか。他に「ロシア料理のタベ」を3回実施しましたね。そうそう、ライデン大学から岡山大学に留学中の女子学生にランチメニューをコーディネートしてもらったこともありました。彼女に日本に来て感じたことを話してもらい、立食形式でみなでランチを食べました。楽しかったですね。

小林 友の会40周年の企画を考えるうえで、大変参考になるお話を伺えたように思います。

下山 いろいろと企画や調整することとは大変でしたが、辛いと思っ

ことはなかったですね。楽しかった。他にもオランダやロシアの音楽会も開催しました。そうすることが洋学資料館や友の会の理解者の裾野を広げていく。夢のある仕事じゃないですか。自分にできないことは専門家に頼めばいいんです。立案者が熱っぽく語れば手伝わてくれますよ。こういうソフト事業を継続したことで、友の会員も飛躍的に増えていったんです。

◀ロシア料理のタベ
▲再現オランダ料理
▼オランダ風会食



植栽ボランティア活動実施

10月27日(日)、通信第3号に掲載した呼びかけに応えて集まってくださった会員の皆さんが、菓草の小径と中庭の草取り、剪定、土入れを行ないました。有志が始まった活動も3年目に入り、植栽の整備が進んでいます。参加してくださいました方々、ご協力ありがとうございました！
今回は、**3月29日(日)の午後3時**から予定しています。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

菓草の小径から ③



サザンカ（山茶花）ツバキ科日本原産で、冬に開花して春に実がなります。実は油が採取できます。江戸時代、出島の商館医として来日したツェンペーがヨーロッパへ持ち帰り、日本語のまま sasanqua の学名を付けました。

資料館 細見 オランダのタイル



中庭へ通じる扉の押手には、オランダ製のタイルがはめ込まれています。子どもの遊ぶ姿が手描きで描かれていて、すべて絵柄が異なりますのでご来館の際は、ぜひ見くらべてみてくださいね。

編集後記

資料館の玄関の正面に咲く赤い山茶花が、見学を終えた来館者の心を和ませてくれています。

「友の会通信 第4号」をお届けします。会員の皆さまの中には、「友の会のあゆみ②」を読んで、オランダやロシア料理のタベに参加した時のことを、思い出された方もおられることでしょう。一つの事業を企画していくことが、人と人を繋ぎ、資料館や友の会の発展に大きく寄与していることを改めて感じました。

継続は力なり。「友の会通信」も、そのような事業の一つとして、内容を充実させながら、発行し続けていきたいと考えています。

(N)

津山洋学資料館友の会通信 第4号

令和2年2月
編集・発行

津山洋学資料館友の会
事務局 〒708-0833
津山市西新町5

津山洋学資料館内
☎ 0868-23-3324